

あなたの声を市政に

～男女共同参画社会づくりのための市民アンケート～

アンケート調査の趣旨とご協力のお願い

市民の皆さまには、日頃より市政にあたたかいご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

南あわじ市では、男女が共に社会参画できるまちづくりを目指し、平成19年度に「南あわじ市男女共同参画計画～^{ひと}女と^{ひと}男との思いやり 南あわじ市スマイルスマイルプラン～」（第1次）を策定し、様々な取り組みをすすめているところです。

近年、私たちを取り巻く社会情勢は大きく変化しています。本調査は、次期計画（第2次）の策定に向けて見直しを検討する上での基礎的な資料として、本市における男女平等に関する意識や実態など、市民の皆さまのご意見をお聞きしたいと考えております。

アンケート調査の対象者は、市内にお住まいの18歳以上の方2,500人を無作為に選ばせていただきました。

なお、調査結果は統計的に処理し、回答者が特定されるようなことはありません。また、他の目的に使用することはありません。

つきましては、ご多忙のおり誠に恐縮ですが、この調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成 29 年 8 月

南あわじ市長 守本 憲弘

◇◇調査票の記入にあたってのお願い◇◇

- このアンケートの回答は、封筒の宛名ご本人がご記入ください。
(※ご本人が記入できない場合は、ご家族等がご本人の考えや思いを代理でご記入ください。)
- できる限り、無回答のないよう、ご自身の考えに近いものをお選びください。
- 「その他 ()」にあてはまる場合は、その具体的な内容を () 内にご記入ください。

アンケート調査票は、記入後、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、
9月12日(火)までに郵便ポストに投函していただきますよう、
お願いいたします。※名前は書かないでください。

■調査に関する問い合わせ先■

兵庫県南あわじ市役所 ふるさと創生課
〒656-0492 兵庫県南あわじ市市善光寺 22-1
TEL : 0799-43-5205 FAX : 0799-43-5305
E-mail : furusato@city.minamiawaji.hyogo.jp

Ⅱ. 男女平等に関する意識についておたずねします

問1 現在、日本の社会での男女の地位は、どれにあてはまると思われますか。(それぞれの項目について、あてはまるものひとつに○)

項 目	優遇されている 男性の方が非常に	どちらかといえば男性の 方が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性の 方が優遇されている	優遇されている 女性の方が非常に	わからない
	1	2	3	4	5	6
① 家庭生活（家族の方針決定、家事・育児の役割分担など）では	1	2	3	4	5	6
② 地域活動（リーダー的立場の比率、役割分担など）では	1	2	3	4	5	6
③ 学校教育の場（進学、専攻など）では	1	2	3	4	5	6
④ 職場（採用、業務内容、昇進、昇級、職場環境など）では	1	2	3	4	5	6
⑤ 法律や制度の上では	1	2	3	4	5	6
⑥ 政治（政策決定）の場では	1	2	3	4	5	6
⑦ 社会通念・慣習・しきたりなどでは	1	2	3	4	5	6
⑧ 日本全体の男女の地位は	1	2	3	4	5	6

問2 あなたは次の事柄についてどのように感じられますか。(それぞれの項目について、あてはまるものひとつに○)

項 目	感じる 非常に抵抗を	感じる 少し抵抗を	感じない 抵抗は	わからない
	1	2	3	4
① 「女・男だから」「女・男のくせに」という言い方、考え方	1	2	3	4
② 女の子は「女らしく」、男の子は「男らしく」育てること	1	2	3	4
③ 亭主関白の男性	1	2	3	4
④ 女性が結婚して夫の姓を名乗ること	1	2	3	4
⑤ 男性が結婚して妻の姓を名乗ること	1	2	3	4
⑥ 女性が結婚しないで仕事に専念すること	1	2	3	4
⑦ 離婚すること	1	2	3	4

問3 「男は仕事、女は家事・育児」という考え方がありますが、あなたはこの考え方に同感しますか。(ひとつに○)

- | | | |
|------------------|-----------------|--------------|
| 1. 同感する | 2. どちらかといえば同感する | 3. どちらともいえない |
| 4. どちらかといえば同感しない | 5. 同感しない | |

問4 近年、女性の社会進出は進んでいますが、議員や審議会委員、自治会の役員などは女性が少ないのが現状です。このように女性の参画が少ない理由は何だと思えますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---|
| 1. 男性に優位な社会の仕組みや制度がある
2. 女性は指導力が低いというような女性の能力に対する偏見がある
3. 女性の能力発揮のチャンスが男性と同じように与えられていない
4. 「女性はでしゃばるものではない」という社会通念がある
5. 女性登用に対する認識や理解が足りない
6. 地域の会長や政策決定の場に出られるような女性の人材がない
7. 男性がなる(に任せろ)方がよいと思っている人が多い
8. 女性自身が役職に対する関心やチャレンジ精神がない
9. 家族の理解・協力が得にくい
10. その他() |
|---|

問5 あなたは次の言葉についてどの程度知っていますか。(それぞれの項目について、あてはまるものひとつに○)

項 目	知 っ て いる よ く	知 っ て いる 少 し は	あ る 聞 いた こと が	知 ら ない
	1	2	3	4
① 男女共同参画社会	1	2	3	4
② 社会的性差(ジェンダー)	1	2	3	4
③ 男女共同参画社会基本法	1	2	3	4
④ 男女雇用機会均等法	1	2	3	4
⑤ 育児・介護休業法	1	2	3	4
⑥ セクシュアル・ハラスメント(セクハラ)	1	2	3	4
⑦ ドメスティック・バイオレンス(DV)	1	2	3	4
⑧ ワーク・ライフ・バランス	1	2	3	4
⑨ ポジティブ・アクション	1	2	3	4

Ⅲ. 職業生活についておたずねします

※ 現在働いていない方は「Ⅳ」へおすすみください

問1 あなたは、1週間に何時間くらい働いていますか（残業を含む）。（ひとつに○）

- | | | |
|--------------|--------------|--------------|
| 1. 20時間未満 | 2. 20～30時間未満 | 3. 30～40時間未満 |
| 4. 40～50時間未満 | 5. 50～60時間未満 | 6. 60時間以上 |

問2 あなたの昨年1年間の総収入はどれくらいでしたか。（ひとつに○）

- | | | |
|------------------|----------------|----------------|
| 1. 103万円未満 | 2. 103～200万円未満 | 3. 200～300万円未満 |
| 4. 300～400万円未満 | 5. 400～500万円未満 | 6. 500～700万円未満 |
| 7. 700～1,000万円未満 | 8. 1,000万円以上 | |

問3 あなたの現在の労働条件についてどう思いますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|---------------------|--------------------------|
| 1. もっと収入の良い仕事をしたい | 2. もっと多くの日数や時間働きたい |
| 3. もっとやりがいのある仕事をしたい | 4. 家事や育児のために勤務時間を減らしたい |
| 5. 余暇のために勤務時間を減らしたい | 6. 時間や日数など、もっと柔軟な勤務体制がよい |
| 7. おおむね満足している | |
| 8. その他（ | ） |

問4 あなたの職業・職場についてどう思いますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|--------------------------------|--------------------|
| 1. 就職活動時に男女の不平等を感じた | 2. 職務内容に男女の不平等を感じる |
| 3. 給与や昇進に男女の不平等を感じる | 4. 研修機会などが男女不平等である |
| 5. 女性の意見や価値観が尊重されない | 6. セクハラ被害にあったことがある |
| 7. 身近にセクハラがあるのを知っている | |
| 8. 性別のために上司や取引先などから信頼されないことがある | |
| 9. 結婚したり、子どもが生まれたりすると勤めにくい | |
| 10. その他（ | ） |

セクシュアル・ハラスメント（セクハラ）とは

継続的な人間関係において、優位な力関係を背景に、相手の意思に反して行われる性的な言動、性的嫌がらせ。

問5 女性が職業をもつことについて、あなたはどのように思いますか。(ひとつに○)

1. 女性は職業をもたない方がよい
2. 結婚するまでは、職業をもつ方がよい
3. 子どもができるまでは、職業をもつ方がよい
4. 子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい
5. 子どもはつくらずに、そのまま職業を続ける方がよい
6. 子どもができたなら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい
7. その他 ()
8. わからない

問6 女性の管理職の登用についてあなたはどのように思いますか。(ひとつに○)

1. 適性のある女性はどんどん登用していくべき
2. ある程度は男女の比率を同じにするべき
3. 女性は管理職に向かないので、あまり積極的に登用しなくてよい
4. わからない
5. その他 ()

問7 女性が活躍できる職業・職場にするために、あなたは何が必要だと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 職場のトップが女性の活躍の促進に積極的であること
2. 上司・同僚が、女性が働くことに理解があること
3. 育児・介護との両立に職場の支援制度が整っていること
4. 長時間労働の必要がないことや、勤務時間が柔軟であること
5. 身近に活躍している女性（ロールモデル）がいること
6. 女性の能力が適正に評価されること
7. 仕事の内容にやりがいがあること
8. その他 ()

問8 共働きの夫婦が育児休業を取るとしたら、どうするのがよいと思いますか。
(ひとつに○)

- | | |
|--------------------|-------------|
| 1. 夫が取るのがよい | 2. 妻が取るのがよい |
| 3. 夫も妻も同じように取るのがよい | 4. その他 () |

問9 共働きの夫婦が介護休業を取るとしたら、どうするのがよいと思いますか。
(ひとつに○)

- | | |
|--------------------|-------------|
| 1. 夫が取るのがよい | 2. 妻が取るのがよい |
| 3. 夫も妻も同じように取るのがよい | 4. その他 () |

女性の方におたずねします

問 10 あなたは、機会が与えられれば、指導的立場や管理職につきますか。(ひとつに○)

- | | |
|----------------------------|---------------------|
| 1. ぜひやってみたい | 2. 得意とする分野ならばやってみたい |
| 3. 他にも女性が積極的に参加するならばやってみたい | 4. 命令ならばやる |
| 5. どちらとも |) |
| 7. その他 (|) |

問 11 女性の活躍を促進させるためには、家族や社会等からどのような支援が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---|---|
| 1. 男性の積極的な家事・育児・介護参加 | |
| 2. 夫以外の家族・地域による家事・育児・介護支援 | |
| 3. 保育の施設・サービスの充実 | |
| 4. 高齢者や病人の施設や介護サービスの充実 | |
| 5. 利用しやすい(育児・介護以外の)家事サービスがあること | |
| 6. スキルアップに向けた研修や就職相談等の再就職しやすい環境が整っていること | |
| 7. 起業を希望する際に資金調達やノウハウの取得が容易なこと | |
| 8. その他 (|) |



IV. 家庭生活についておたずねします

問1 あなたは、普段の平日をどのように過ごしていますか。(それぞれの項目について、およその時間を記入)

項 目	時間	分
① 仕事・通勤あるいは学業・通学	時間	分
② 家事	時間	分
③ 育児・介護	時間	分
④ 余暇、自由時間	時間	分
⑤ その他 ()	時間	分

結婚されている方におたずねします

問2 あなたのご家庭では、夫婦のどちらが主に次のことをされていますか。(それぞれの項目について、あてはまるものひとつに○)

項 目	主に夫	夫婦同程度	主に妻	夫婦以外	どれでもない
	1	2	3	4	5
① 生活費を得る	1	2	3	4	5
② 食品などの買い物	1	2	3	4	5
③ 食事のしたく	1	2	3	4	5
④ 食事の後片付け	1	2	3	4	5
⑤ ゴミ出し	1	2	3	4	5
⑥ 部屋の掃除	1	2	3	4	5
⑦ 風呂の掃除	1	2	3	4	5
⑧ 洗濯	1	2	3	4	5
⑨ 家計の管理	1	2	3	4	5
⑩ 子育て	1	2	3	4	5
⑪ 学校行事などへの参加	1	2	3	4	5
⑫ 家族の看護・介護	1	2	3	4	5
⑬ 地域の行事参加、近所とのつきあい	1	2	3	4	5

V. 人権についておたずねします

DV（ドメスティック・バイオレンス）とは

- 身体的暴力…殴る、蹴る、突き飛ばす、髪を引っ張る
 - 精神的暴力…怒鳴る、物を投げつける・壊す、外出や電話を細かくチェックする
 - 性的暴力 …性的行為を強要する、避妊に協力しない
 - 経済的暴力…生活費を渡さない、酒・ギャンブルなどで生活費を使い込む
- ※デートDV…恋愛関係にある男女間でおこるDV

問1 あなたは配偶者等からのDVについて、経験したり、見聞きしたことがありますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1. 自分が暴力を受けたことがある | 2. 自分が暴力をふるったことがある |
| 3. 身近に経験した人がいる | 4. 知識として知っている |
| 5. 言葉は聞いたことがある | 6. 言葉も聞いたことがない |

問2 あなたは恋人からのデートDVについて、経験したり、見聞きしたことがありますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1. 自分が暴力を受けたことがある | 2. 自分が暴力をふるったことがある |
| 3. 身近に経験した人がいる | 4. 知識として知っている |
| 5. 言葉は聞いたことがある | 6. 言葉も聞いたことがない |

問1または問2で「1」「2」「3」を選んだ方におたずねします

問3 その時、あなたはどうしましたか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------------------|-----------------------------|
| 1. 夫婦（恋人同士）で話しあった | 2. 家族や親族などに相談した |
| 3. 友人や近所の人に相談した | 4. 公的な機関に相談した |
| 5. 民間の機関に相談した | 6. 医療機関に相談した |
| 7. どこに相談したらよいかわからず、
誰にも相談しなかった | 8. 相手が怖かったので、誰にも相談しな
かった |
| 9. 自分ひとりで考え、解決しようとした | 10. 何もしなかった |
| 11. その他() | |

問4 異性に対する暴力や性犯罪、売買春、セクシュアル・ハラスメントなどから人権を守るために何が重要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------------------------|--------------------|
| 1. 犯罪の取り締まりを強化する | 2. 法律・制度の制定や見直しをする |
| 3. 相談機関や保護施設を整備・拡充する | |
| 4. 家庭における男女平等や性についての教育を充実させる | |
| 5. 学校における男女平等や性についての教育を充実させる | |
| 6. テレビや出版物などのメディアにおいて、性や暴力表現にもっと配慮する | |
| 7. その他() | |

VI. 男女共同参画社会についておたずねします

問1 あなたがこの1年間に行った社会活動や、今後行いたい社会活動はどれですか。
(あてはまるものすべてに○) 趣味、学習活動、スポーツ活動

1. 民生委員、審議会の委員等の公的委員活動
2. 地域活動(自治会、婦人会、老人会、PTA、消防団等)
3. 福祉、ボランティア活動
4. 国際交流、まちづくり、地域おこし活動
5. 趣味、学習活動、スポーツ活動
6. その他()
7. 特にない

問2 南あわじ市のまちづくりや行政には、女性の意見が反映されていると思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 十分反映されている
2. まあまあ反映されている
3. あまり反映されていない
4. まったく反映されていない
5. わからない

問3 政治や行政の場において、政策の企画や方針決定の過程に女性の参画が少ない理由は何だと思えますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 家庭、職場、地域における性別による役割分担や性差別の意識
2. 女性の参画を積極的に進めよう意識している人が少ない
3. 男性優位の組織運営
4. 家族の支援・協力が得られない
5. 女性の能力開発の機会が不十分
6. 女性の活動を支援するネットワークの不足
7. 女性の積極性が十分でない
8. その他()

問4 男女共同参画を推進していくために、南あわじ市としてどのようなことが必要だと思えますか。(あてはまるもの5つまでに○)

1. 男女平等について、女性への啓発・意識改革
2. 男女平等について、男性への啓発・意識改革
3. 男女平等についての学校教育の充実
4. 女性は女性らしく、男性は男性らしく生きるための教育やしつけ
5. 政治や行政への女性の参画機会の増大
6. 法律や制度の見直し・改善
7. 保育や介護サービスの充実
8. 女性の教育や職業訓練・研修機会の充実
9. 男性の料理教室など生活技術の習得機会づくり
10. 健康で暮らせるための保健、母性保護の推進
11. 企業や事業所への平等な雇用への啓発
12. 企業や事業所への労働条件や待遇の改善普及
13. 企業や事業所への育児・介護・看護のための休業制度等の普及
14. 相談事業の充実
15. ボランティア活動への支援
16. その他(具体的に)

最後に、男女共同参画や女性問題について、ご意見、ご感想がありましたらご自由にご記入ください。

お忙しいところ、最後までご協力いただき、誠にありがとうございました。

アンケート調査票は、記入後、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、**9月12日(火)**までに郵便ポストに投函してくださいよう、お願いいたします。※名前は書かないでください。

